

1 防災委員と防災推進委員

災害時には、防災の知識を身に付けた方のたった「一言」で命が救われることがあります。

1 防災リーダーの役割

本市では平成7年の阪神・淡路大震災を教訓として、住民同士が協力し、災害に立ち向かうため、平成9年から自治会を母体とした「市民防災会」という自主防災組織を結成しています。

その「市民防災会」の基盤となる町内会市民防災会で、町内会長などの代表となる方を「防災委員」、組長・班長を「防災推進委員」として、自主防災活動のリーダー「防災リーダー」に位置付けることとしています。

平常時にすること（期待されること）

- 日頃からの挨拶や声掛けなど地域住民とのコミュニケーション
- 防火・防災講習会の企画や防災マップ作成、防災訓練の実施（初期消火訓練等）
- 高齢者や障害のある人など災害時に援助が必要な方の把握と情報共有 など

非常時にすること（期待されること）

- 情報の収集と連絡網による伝達や初期消火・避難誘導
- 負傷者の救出・救護など

平成11年6月29日の豪雨災害で広島市安佐南区の伴地区（ともちく）では、町内会長が、真夜中地域住民に避難を呼びかけたそうです。直ぐに避難してくれない家も何件かありましたが、最後は「町内会長を信じる」といって全戸が避難してくれました。避難所では、食事が不足した事もありましたが、事情を説明し、リーダーが責任を持って不足する分を準備すると話したら、「リーダーを信頼し、リーダーの言うとおりにする」と理解してもらえました。防災マップづくりでの要援護者（把握）のときも、避難説得のときも、避難所での食事不足のときも、いずれも“地域のリーダーが真摯に向き合い話をする”ことが重要な鍵でした。



自主防災組織づくりとその活動総務省消防庁消防大学校資料から引用

阪神淡路大震災や東日本大震災でも同様の話があります。

町内会長などから、ご高齢世帯などへひと声かけていただくことが大切です。

2 防災リーダーの研修と研修テキスト

消防署や区役所の職員等が、防災リーダー研修テキスト（無料）を使用して、分かりやすく研修（約60分）を実施します。

研修項目

自主防災組織・防災リーダーの役割・避難所の開設運営等

お問い合わせ

八幡西消防署予防課（622-0119）へお問い合わせください。

**防災リーダー研修に参加して
災害に強い地域をつくきましょう！**



テキストは市ホームページに掲載しています。

3 災害情報メール配信サービス

気象情報や避難勧告等の防災情報が配信されるサービスです。

事前に登録することで、希望する情報のメールが送信されてくるので、各種防災情報を迅速に収集できますので、町内会長等の皆様は是非登録をお願いします。

名称

もらって安心災害情報配信サービス（北九州市）

概要

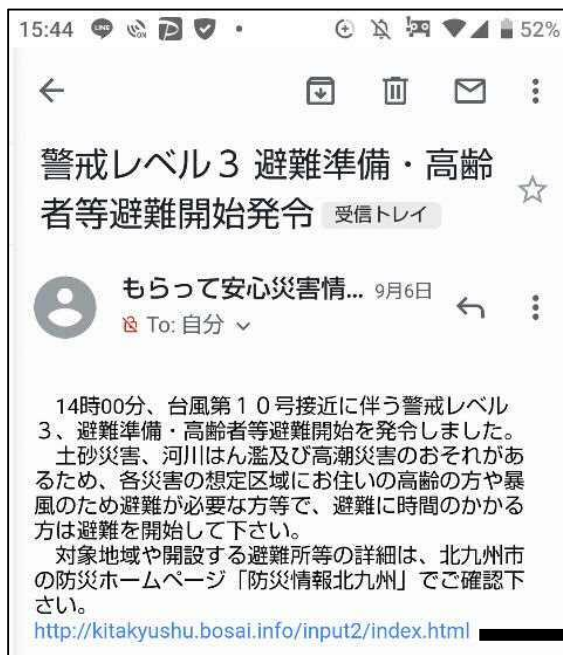
気象情報・避難情報・地震情報や消防車の出動等を電子メールで携帯電話やパソコンに配信します。空メール送信による登録が必要です！！

アドレス

e-kitakyushu@xpressmail.jp



もらって安心
災害情報配信
サービス



リンクをクリックしたら「防災情報北九州」のサイトに飛びます

登録すればこのようなメールが届きます。

配信を希望する種類も選ぶことができ、火事や救急、救助の情報も得ることができます。



防災情報北九州にあるメニュー一覧

災害情報 避難情報 避難所マップ 避難所一覧 その他情報 【北九州市観測情報】 雨量情報 水位情報 危機管理型水位計・ダム ライブカメラ 【気象情報】ピンポイント予報 など

「もらって安心災害情報配信サービス」の登録以外の方法として、LINEで「北九州市の公式アカウント」に友達申請を行うことによって、北九州市の市政情報や観光情報、防災情報等を受け取ることができます。詳しくは「北九州市 SNS ポータル - 北九州市」で検索をお願いします。

2 障害のある人のサポート

障害種別に対応した支援方法を知って、円滑な避難誘導などができるようになります。

1 『災害時障害者サポートマニュアル』を活用しよう！！

災害時や避難所では、障害のある人への配慮も必要となります。

しかし、『災害の状況』や『障害』はさまざまです。

このため、北九州市では『災害時障害者サポートマニュアル』を作成し、北九州市ホームページで公開しています。（西部障害者福祉会館でも配布をしています。）

このマニュアルでは、「支援するうえで注意すべき基本的事項」の他、「災害発生時や避難場所など、状況に応じたサポート方法」、「視覚障害や聴覚障害など、障害種別に応じたサポート方法」について解説していますので、参考にしてください。



2 『ストラップ型ヘルプマーク・ヘルプカード』をご存知ですか！！

「ヘルプマーク」とは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、又は妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

周りの人から支援や配慮を必要としている方には、『ストラップ型ヘルプマーク』や、ヘルプマークがデザインされた『ヘルプカード』を身につけている人もいます。

『ストラップ型ヘルプマーク』『ヘルプカード』には、緊急連絡先、かかりつけ医、その人の特性（どんなことが苦手か、こうしてもらえると安心、どういう支援が必要か）などを記載することができるようになっています。

【災害時は、安全に避難するための支援をお願いします】

視覚や聴覚に障害があり状況把握が難しい方、肢体に障害があり自力での迅速な避難が困難な方がいます。ご理解とご協力をお願いします。

デザインについて

『ヘルプマーク』は赤色の地に白色の『+』『♡』でデザインされています。赤は「ヘルプ＝普通の状態ではない」ことを発信し、ハートは相手に「ヘルプする気持ちをもってください」という意味を含んでいます。

3 身近な地域の社会資源を知ってください！！

八幡西区には『北九州市立西部障害者福祉会館』が黒崎コムシティ5階にあります。

『西部障害者福祉会館』は、障害のある人を対象とした様々な講座を開催したり、ボランティアや地域社会との交流の場の提供を行っています。

また、併設されている『点字図書館』は視覚に障害のある人のための利用施設です。もうひとつ併設されている施設『北九州市立聴覚障害者情報センター』は、聴覚に障害のある人のための利用施設で、手話通訳者の派遣、盲ろう者通訳ガイドヘルパーの派遣等を行っています。気軽にお立ち寄りください。

休館日や開館時間があります。また、台風等での急な休館もありますのであらかじめホームページでご確認ください。

北九州市立西部障害者福祉会館

TEL：093-645-1300 FAX：093-645-1600

開館時間：9：30～21：00（ただし日曜日は9：30～18：00）

休館日：火曜日・祝日・年末年始（ただし、祝日が火曜日の場合は次の日も休館）

ストラップ型ヘルプマーク



ヘルプカード



3 外国人のサポート

災害時に外国人を支援するサービスがありますので、その方法を理解しておきましょう。

1 災害対応多言語コールセンターサービス

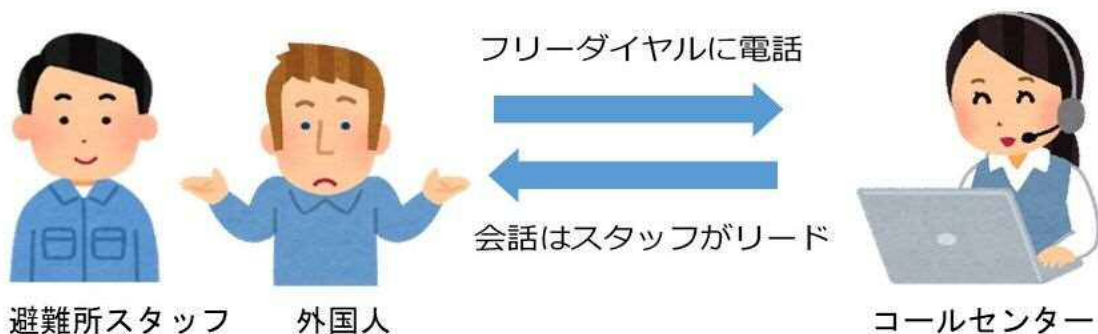
避難所には外国人の方も避難される場合があります。令和2年9月の台風第10号の際には、実際に数名の外国人の方が避難された避難所がありました。

そのような場合に、様々な言語に対応できるようにするため、北九州市では災害が起きたとき、北九州市災害警戒本部又は災害対策本部の設置時から閉鎖時まで、24時間対応可能な電話通訳サービスを提供しています。(災害が起きていないときは、使えません)

2 サービスの使い方

- (1) 北九州市専用のフリーダイヤル(0120-803-864)に電話をかけてください。
- (2) 電話先の通訳スタッフと、状況や外国人の言語に合わせやりとりを行います。

災害対応多言語コールセンターサービス利用イメージ 北九州市専用フリーダイヤル (0120-803-864)



- コールセンターに電話する時に「何語」または「国籍」を最初に伝えると、スムーズに通訳対応が行えます。

3 話せる言葉

- | | | |
|-----------------|----------|-----------|
| ■ 日本語 | ■ 英語 | ■ 中国語 |
| ■ 韓国語 | ■ ベトナム語 | ■ ネパール語 |
| ■ タガログ語 (フィリピン) | | ■ インドネシア語 |
| ■ タイ語 | ■ ポルトガル語 | ■ スペイン語 |
| ■ フランス語 | ■ イタリア語 | ■ ドイツ語 |
| ■ ロシア語 | ■ マレー語 | ■ モンゴル語 |
| ■ クメール語 | ■ ミャンマー語 | |
| ■ シンハラ語 (スリランカ) | | |

20言語

**Kitakyushu
Disaster Foreign Language
Support Call Center**

北九州市災害対応多言語コールセンター
北九州市多语言灾害对应电话中心
기타큐슈시 재해 대응 다언어 콜센터
Trung tâm ứng phó thiên tai đa ngôn ngữ (Kitakyushu)

0120-803-864

If you have questions regarding disasters, please contact the "Disaster Foreign Language Support Call Center."
がいこくごで、さいがいひの ことを しりたい ひとは、でんわ して ください。
如使用外语咨询灾害信息，请拨打“多语言灾害对应电话中心”。
재해 관련 외국어 문의는 '재해 대응 다언어 콜센터' 로 연락해주시기 바랍니다.
Mọi thắc mắc về thảm họa thiên tai xin vui lòng liên hệ tới "Trung tâm ứng phó thiên tai đa ngôn ngữ"

20 languages available
Japanese / English / Chinese / Korean / Vietnamese / Nepali
Tagalog / Indonesian / Thai / Portuguese / Spanish / French
Italian / German / Russian / Malaysian / Mongolian / Khmer
Burmese / Sinhala

4 防災訓練等に参加しましょう！

＜突然の災害から命を守るために、緊急時に最善策を選ぶように＞

災害から命や財産を守るためには、とっさの判断や行動、日頃からの備え等について、学び、体験し、知識を深めておくことが大変重要です。

北九州市では、様々な防災に関する訓練・啓発事業を行っています。詳細は、随時、市政だよりや市のホームページ等でお知らせしていますので、地域や職場、ご家族等でぜひ、ご参加ください。

① 市総合防災訓練

大規模な災害を想定し、地域住民や防災関係機関、各種団体と連携した訓練を実施しています



★ お問合せ：危機管理室危機管理課

【市内で年1回実施(約半日)／個人・団体の参加】

② 区防災訓練

各種災害に備え、各区において避難・消火・炊出し等の住民参加型訓練を実施しています



★ お問合せ：各区役所総務企画課

【各区で年1回実施(約半日)／個人・団体の参加】

③ 災害図上訓練(DIG)

消防職員が講師となり、危険箇所や避難先等を地図に書き込む訓練を地域で実施しています



★ お問合せ：各消防署予防課

【随時実施(約2時間)／団体の参加】

④ 避難所体験・運営訓練

長期の避難所生活を想定し、応急手当や非常食の試食、避難所運営ゲーム等を体験する訓練です



★ お問合せ：危機管理室危機管理課

【現在は年1回、1区の防災訓練で実施／団体の参加】

⑤ シェイクアウト訓練

家庭や学校・職場等で突然、地震に襲われた際に、どのような行動を取るのかを学ぶ訓練です



★ お問合せ：危機管理室・各消防署・各区役所

【場所を選ばず、どこでも実施できます(約3分)】

⑥ 地震体験

地震体験車が地域へ出向き、東日本大震災や関東大震災など様々な地震の揺れを体験します



★ お問合せ：各消防署予防課

【随時実施(*雨天不可/団体の参加)】

⑦ 防災フォーラム

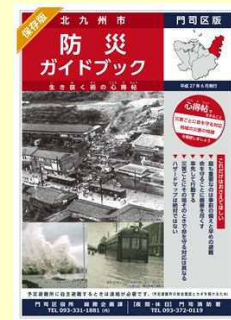
全国各地で発生する災害をふまえ、その貴重な体験や知識等を講演会やパネル展示等を通じて広く市民の皆さんに周知するイベントです



★ お問い合わせ：危機管理室危機管理課
【市内で年1回開催(約半日)団体・個人で参加】

⑧ 出前講演・出前トーク

H27年6月に全世帯へ配布した防災ガイドブックを活用し、防災に関する様々なテーマについて、市職員が講師として地域へ出向き、講話を行います



★ お問い合わせ：危機管理室危機管理課
【随時開催(30分~1時間)/団体で参加】

⑨ 避難所運営ゲーム(HUG)

大規模災害時の避難所運営について、スペースを有効活用しながら、数多くの避難者を適切に配置できるか模擬体験します。また、配慮が必要な方への対応など、より一層理解を深めていただきます。



★ お問い合わせ：各区役所総務企画課
【随時実施(約2時間)/団体で参加】

● その他、市民防災会(自治会)等により、様々な防災訓練や啓発的な取り組みが行われています

<消火訓練>



= お問い合わせ =

- | | |
|---------------|-----------------|
| ★ 危機管理室危機管理課 | 5 8 2 - 2 1 1 0 |
| ★ 八幡西区役所総務企画課 | 6 4 2 - 1 4 4 2 |
| ★ 八幡西消防署予防課 | 6 2 2 - 0 1 1 9 |